

荷受け施設を増設

太陽光発電で地域貢献も

総合リサイクル・廃棄物処理事業を展開する加山興業（愛知県豊川市、加山順一郎社長、

〒05333・89・0375）は、本社工場に新たな荷受け施設を設置した。顧客の増加に伴い受け入れの効率性を高め、サービスの向上を図る。増設した施設

は荷受け並びに保管ヤードとして設置したものの。対象品の受け入れと事前選別を行う他、原料の保管場所として使用する。多品目を総合的に扱う同社では、サービスの拡大や顧客の増加に伴って出入

りする搬入車両も多くなっており、荷受けまで車両が待機するケースも出ていた。既存施設と合わせ、今回の増設でスムーズな受け入れを実現し、搬入物の受け入れ態勢を強化する考えだ。

新たな建屋によって騒音の抑制にもつながり、近隣への環境負荷を低減。また、屋根には太陽光パネルも設置して全量発電しており、同社全体で約100キロワットを発電する等、地域への貢献性は高い。

原料を生産するなど、意欲的な事業展開を続ける同社。河野嗣寿常務は「荷受け施設の増設は顧客サービスの一環と考えている。より利便性を高め、顧客にとって使いやすい施設となるよう努めているので、どんどん利用してもらえれば幸いだ」と抱負を語った。



最近では使用済みゴム製品のリサイクル処理態勢を構築し、月間約100トのゴム製品

への貢献性は高い。